



地区目標 ロータリーに夢をもって行動しましょう!!

クラブテーマ 想像から行動へ～優しさ溢れる出会い (DEI) のクラブ～

- ◆点鐘：市村 清勝 会長
- ◆ロータリーソング：奉仕の理想
- ◆司会：平田 智則 S.A.A.
- ◆会場：山形グランドホテル

### 第2982回例会 令和5年6月19日(月)

## 会長あいさつ

市村 清勝 会長



一番魅力的な山ということでお話をさせていただきます。まったく個人的な見解であります。高い山ランキング。富士山が1番で3,776メートル。北岳、奥穂高、間ノ岳、槍ヶ岳とこんな順番になっております。私の登った山ですが、富士山に登りました。これ富士山の山頂ですけれども、ご来光を山頂で見る人たちです。もう多すぎるんですね。インバウンドの方もたくさんいらっしゃいます。富士山に登ったら富士山は見えないですし、埃だらけでありまして、私としてはちょっとがっかりした富士山でありました。



北岳に登りました。富士山がすごくきれいに見えるんですね。富士山の左手のほうからご来光が、太陽が出てきてすばらしい山だったなというふうに思っています。



ひと目でわかる槍ヶ岳であります。槍ヶ岳の山頂は場所が狭いのでちょっと立っているのが怖いので、ちょっと中腰、へっぴり腰状態であります。

剣岳の雲がかかっている状態です。大変きれいな山ですね。剣のこれが山頂になります。ちゃんとハーネスをつけていかないと危険な山なので、こんな状態ですね。カニのタテバイ・ヨコバイを登りながら山頂まで進んでまいります。一番魅力的な山ということで、私にとってはここになります。尾根ってすごくて、ここを境にこっち側が雲があってこっち側が晴れているんですね。すごくきれいな山です。花崗岩がところどころ飛び出しております。ここに槍ヶ岳が見えます。ここ、イルカ岩というんですけれども、ここの隣にも槍が見えます。



北アルプスに行くとやっぱり槍を中心にみんな見て回るということなんですね。近くの山荘、燕山荘というのです

が、ここのオーナーがホルンを吹いてくれます。これが人気で、ここは山荘の中でも人気の山荘になっております。ここ燕岳、「つばめだけ」じゃないです。「つばくろだけ」と読みます。この北アルプスの燕岳がすごくきれいなところなんです。私のおすすめコースです。一番の魅力的なコース、このコースぜひ行ってみたいなと思っています。北アルプスの表銀座コースというふうにいわれています。一番人気のコース。まったくベタですけども、ここのコースが一番おもしろいそうだと。



中房という、中房温泉というところからこの燕岳に、ここ、ただ登るだけなんです。大変なんです。大変なんです。ここから大天井岳、槍ヶ岳、そしてそこから下ってきて河童橋、上高地と、梓川の所を川の流れとともにずーっと下りてきて、上高地まで下りてくると。このコースがすばらしくきれいで、充実感もある槍ヶ岳も登ったと、燕岳も登ったということで、すばらしい私のおすすめのコースであります。山形から行くと前泊を入れて4泊5日。私もうすぐ66歳。気力と体力がある限り登り続けたいなと思っております。ぜひ登りたいという方はお声がけをいただければ大変ありがたいと思っております。

最後になりますけれども、今年1年間、私のこのつまらない話にお付き合いをいただきましてほんとにありがとうございます。大変残念ですが、以上で会長挨拶を終わらせていただきます。ありがとうございました。

## 幹事報告

三沢 大介 副幹事

こんにちは。安部幹事から、次年度の幹事報告に向けて「ぜひお前今日練習しろ」ということだったので、今日は私から幹事報告させていただきます。

- 米山功労者第12回メジャードナーということで武田元裕会員に感謝状が届いております。おめでとうございます。
- 米山奨学生のジャン・チャンビンさんが今日来ております。会長から米山奨学金の贈呈をお願いいたします。
- こちら次年度の名簿なのですが、今から皆さんのテーブルにお渡しさせていただきます。ご自分のお名前、住所その他さまざまな情報がお間違いないか、また変更等々がある方はその脇に訂正して記入のほうよろしくをお願いいたします。
- 今月のロータリーレートは140円です。

## 委員会報告

### 親睦・家族委員会

会員3名、奥様5名、6月に誕生日を迎えられます。  
おめでとうございます。

毎月お願いしておりますが、奥様へのギフトにつきましては、今年は自動的に送られるわけではなく、お申し込みをいただく形になっております。本日の午前中に未申込者の方には事務局からメールにてこちらのカタログ一式のデータと、お申込書もついております。こちらを配信させていただきました。申込みも決して難しくはありません。商品の中を単純に選んで、番号を書いていただいて、ファクスで各企業に送信いただく形になっています。大切な奥様へのギフトをご選定いただきたくお願いいたします。

### ロータリー財団委員会

ロータリー財団の寄付金はポリオというワクチンに、累計で今22億ドル、日本円でいうと2,500億円以上、この寄付によって小児麻痺になるお子さまを減らしていくことができます。ロータリーの取り組みがなくてはポリオの絶滅には至らないところがございます。ポリオにつきましては引き続きのご支援と、あと今回のアオモリトドマツの補助金、今後のグローバル補助金の展開などもこのロータリー財団から拠出されているものでございます。それと皆さまの善意、心温まる善意でもって支えられているということを改めて付け加えさせていただいて、今の進捗状況としては、あと4千ドルというところでございます。声掛け等も後ほどさせていただきたいと思っておりますので、少額でも結構ですので、やはり善意ある皆さまのお気持ちが大切かと存じますので、もう今一度、ご協力をいただければと思っております。ぜひこれを機会に財団のほうに善意をいただければと思っておりますので、最後のお願いでございますけれども、何卒よろしくお願いいたします。

## 最終クラブ協議会

6月17日土曜日、最終クラブ協議会が行われました。2次会まで盛り上げていただき、この場をお借りして感謝を申し上げたいと思っております。



会長からいただいたおまんじゅう。  
ありがとうございました！

## ニコニコBOX

〈6月19日〉

**市村清勝会長**／1年間本当にありがとうございました。最終例会はまだ残っていますが、最後のニコニコになると思っています。とても楽しい1年になったことに感謝しかありません。本当にありがとうございます。

**安部弘行さん**／ブービーメーカー

第3回球風会において、25年ぶりにブービーメーカーになりました。95打しか打っていないのに、西クラブのレベルの高さに驚きです。ニコニコします。

**平吹和之さん**／金婚式に向かう

本日、6月19日、50年前に結婚式を行い、50年経ちました。女房には迷惑かけましたが、今日までよくもちました。感謝です。

**佐藤章夫さん**／市村会長のリーダーシップに敬意を

市村会長のリーダーシップに敬意を表してニコニコです。

**戸田正宏さん**／1. ご協力ありがとうございます

1年間、S.A.A.の仕事をさせていただきました。おかげさまでS.A.A.の絆が深まり、新たに山形西ロータリーキングン会という派閥を作り、定期的に飲み会をしたいと思っております。ありがとうございます。

2. 嬉しいです『ロータリーの友』創刊70周年特別企画「俳句コンテスト」に、夏井いつきさんからの佳作をいただきました。「加勢鳥の奇声に水の祝儀かな」佳作。嬉しいです。

**高橋順弘さん**／例会を無事に終えて

会員皆さまの協力を得て、無事に終わることができました。心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

**佐藤啓さん**／最終クラブ協議会でニコニコします

先日の最終クラブ協議会で集めたお金をニコニコします。1年間ありがとうございました。

**坂部登さん**／優勝に縁のない男

優勝と縁のない私が流通団地のゴルフコンペにて優勝しました。商品に丸魚のカニ、魚をたくさんいただき、我が家一同大喜びいたしました。これでゴルフコンペに行きやすくなりました。(笑)

**三浦達雄さん**／球風会東蔵王大会において

おかげ様でメンバーとダブルペリア恵まれ優勝することができましたのでニコニコします。高嶋委員長をはじめとする職業交流委員会の皆様におかれましては年3回の球風会開催とさらに7RC対抗の仕切りと大変お疲れ様でした。秋は遠征との話もありましたので、今後も皆様と一緒にゴルフを楽しみたいです。

**職業交流委員会**／6月3日球風会、東蔵王ゴルフクラブ大会お疲れさまでした

6月3日、球風会にご参加いただいた皆さまに感謝し、ニコニコします。また、イズミコース4番にてワンオンしなかった方、またワンオンしましたが善意でニコニコをくださった方からいただいたチャリティーをニコニコさせていただきます。ありがとうございました。



### カモシカの救護所についての 経過報告

東 英生 さん

[野生動物獣医]

東と申します。今年に入ってからの活動等々を、スライドを使って報告させていただきたいと思います。始まる前に、市村会長さんのお話を聞いて、若い頃、槍ヶ岳に登った時に「あんなところにみんな普通の人が登るのかよ」というような結構きつい山なんです。私は野生動物の調査なので1日じゃなくて、尾瀬とか上高地を1カ月とか泊まって、人がいない時にやるので、とても懐かしかったです。私はカモシカを捕獲したり、調査をやるんですけども、上高地のカモシカの爪は他の地域の爪とは違って、縞模様なんです。これはどこにも報告されていなくて、地域によってそういう地域特性があるということになります。

槍も穂高も登ったし、永田岳というのが本当は屋久島にあるんです、屋久島もたぶん20回近くサルやシカの調査で行っているんですけど、永田岳に1回も登ってなくて、縄文杉のところまで行かなかったんです。非常に今考えると行ってあげよかったです。それからケニアのマウントケニアにレナナ山というのがありまして、これがとてもいい山で富士山より高い山を娘と登りました。なんか山登りというのはもうつらいんですけども、市村さんの話を聞いて、達成感じゃないけれど、もう1回行って味わいたい、風を感じたいと、ちょっと頑張ってもう1回近くの山を登ってみたいと思いました。

カモシカというのは、絶滅の危機から昭和30年に特別天然記念物となったと。昭和9年に天然記念物だったんですけども、それでも密猟等々が続いてほとんどいなくなった動物でもあります。今になると「あんなのそこらへんにいる」と思っていますけれども、行政の方、いろんな方が努力されて今の復活、復元をやっているのかなと思っています。

私の活動というのは、行政ではないので甘いところがありますけれども、動物寄りにやっているという感じがします。

このパワーポイント、これが上山で拾ってきたというよりもお母さんが家の裏で子どもを産んじゃって、お母さんが帰っちゃって子どもが帰れなくなっちゃって、私のほうで帰そうと思って一緒に山に登って、鳴いてもらって呼んだんですけども、結局お母さんが帰ってこなくて、1週間くらいいたんですよ、帰ってこなくて。結局私のほうで育てたという歴史があります。

これは南陽で保護されて、米沢の野鳥救護所で飼われていたんですけども、小さい時はいいんですけども、2年経ったら面倒をみている奥さんにちょっとちょっとかいを出しそうになったものですから、早くどっか持っていけと言われて、本当はトレーニングして野生に帰すという計画しているんですけども、急に明日明後日というわけにはいかないの、3~4年かけてリハビリテーションのトレーニングをやらないといけません。

これはシカコっていう名前のシカで、今は富山ファミリーパークという所で元気にしています。ファミリー

パークの方には名前変えていいですよって、あまり動物園で展示するのにシカコじゃおかしからって言ったんですけども、せっかくだからということで名前をシカコって書いて「山形から来ました。美人ですよ」、もし富山に行かれた時はエビやブリもいいですけども、カモシカも見てください。富山ファミリーパークには1頭いて、多分今年、子どもを産むかもしれないと思っています。

カモシカは天然記念物から特別天然記念物に移したんですけども、これも皆さんが努力する中で残ってきた種ですから、飼育下で増やすということは、実際は日本ではカモシカはなかなか増えないことになっています。去年、上野動物園や井の頭自然文化園で増えたのが何年かぶり、珍しかったということになります。

私の場合は、ニホンザルを中心として45年ぐらい、今も含めて、ニホンザルを追っかけてきてますね。昔は発信器とかそういうのが何もなかったの、全部足で歩いて追跡していました。ところが、日本ではニホンザルも被害を出すようになると、保護ということもなかなか言えなくなって、これは狩猟獣じゃないので、ニホンザルも消えかかって、東北ではほとんどいなくなって、日本では保護ができない、ケニアでは霊長類の保護をするプロジェクト、JICAがあります。今、檻に入っているのはサイクスというサルになります。低標高地でもいるので、それを捕獲して移送する。観光地に被害が出ているということで、殺すんじゃないで山に帰そうということで、そのプロジェクトをやるために捕獲して、1回、そして山に放して、それがどういうふうになっていったかをやりました。アフリカも意外と森がみんななくなってしまっていて、プランテーションとか、やっと広いエリアがあった所に移した時は、皆さんこうやって、向こうはこれが商売で、日本はニホンザルを放そうなんて言ったらもう今は石が飛んでくると思いますが、それぐらい国によってずいぶん違うということになります。

これが先ほど言った上高地のカモシカです。上高地のカモシカは、爪の色が違います。この時期は観光客がいけないので、雪の中で私たちは麻醉銃を使って捕獲するということはこの年はやっていました。今、信州大の教授がずっと追跡して、この地区でサルとカモシカが、クマもやってたんですけど、確か30年くらい前ですけど、太りすぎたりほかの餌にかかったりして、放して終わりという感じがありました。クマをドラム缶で捕ったらあまりにも太りすぎて出なかったことがあります。普通クマはどんなに太っていてもあのドラム缶の直径を反対側に回るんですよ。100キロを超えても。ところがその上高地の餌付いたクマは回れませんでした。だから麻醉はしやすく良かったですけども、クマさんとかカモシカさんとそういうふうなことでやってきているということになります。

長井でカモシカが倒れて、誰かどうかしてくれと言われて、カモシカがツノを突つき合って、横っ腹を角で刺して、化膿しちゃったりするんです。それでこれを排膿して閉じて、また放す、地味な形でやらせてもらっています。本当は治療して、リハビリができる施設がほしくて、しなきゃいけないんですけども、なかなか今の日本ではそういう施設はないということで、施設を作って野生に帰せるようなことをやりたいと考えています。これは2つの例です。1つは麻醉で捕るわけですけども、これは麻醉というか鎮静剤ですけど、なぜかと言うとパラボックスというカモシカ特有の病気なんですけ

ど、非常にきつい症状が出ます。これを最初見つけた頃は、人間にうつるんじゃないか的な話があったので、私は患部をずっと自分の顔にべったりつけて、「うつらないでしょう」と言って、治療さえすればきちんと治るんですけども、今治療できる施設がないという。治療して帰してあげたからといって、今はカモシカの被害が出るということも含めて、学会でもあまり褒められないということになります。

そうは言っても、私も一応獣医なんで、今年も日本中でやってる人がいないから、北海道の酪農学園大学の方が手伝いたいということで、錯誤捕獲といってイノシシの罠にかかったカモシカを放す作業に参加してもらった人です。昔は、野生動物を保護したりすることはとてもコンセンサスが得られていたと思うんですけども、今はカモシカを保護するということは酪農学園でもできなくなりました。今、北海道の去年の報告では、1,057頭のヒグマを殺していることになります。

これは東根で、倉庫に入ってなかなか出ないからということで連絡をいただいて、やっぱりパラボックス、その場でしかできないので、治療をして削蹄といって爪切りするんです。そしてタグを付けて、次に生きてるかどうかという地道な形でやることを続けています。

これがネイルアートといって、爪が伸びすぎたら歩けなくなるんですね。だから爪を切ってあげます。もし捕獲した時に爪が伸びすぎていたら切ってあげます。これは牛も馬もそうなんですけど、ちゃんと切ればすぐ歩かようになります。ただ、どうしても遅いと化膿しちゃいます。これも本当は施設とかでやれば生きて戻せるんですけども、なかなかそういうことができないと。

これはイノシシの罠にかモシカがかかったものです。皆さんからすれば「わー」ですけども、この先の足がないんですね。その前にかかった時にちぎれてるんですね。そういうカモシカが今山形にもいます。これもパラボックスの病気です。イノシシを捕るにしても、そういうことがあるよということになります。だから罠をかけるというのは大変気を使います。

白鳥も、山形は鳥獣保護センターみたいな専門の機関がありません。これも山形地区、笹谷峠のインターのニジマスの釣り堀の上のほうですけども、こうやっていたんです。私、毎日行ってエサをやってたんですけども、何日か後にこうなって、キツネの足跡が残ってたということで、結局死体は見つけれませんでした。山形にもそういう機関があるといいなと思っています。

これは新潟です。今はもう使わなくなった廃屋というか倉庫にクマが入ったと。新潟から夕方電話がかかってきたので、山形から行ったら夜の9時過ぎごろ着いたんですね。もうここから逃げてるだろうと思って、ゆっくり明日の朝様子を見りゃいいやくらいに思ってたんですけど、次の朝、倉庫のドアを開けようと思って開かなくて、「いないよ」と私が言って回れ右したら、ドターンと音がしたと思ったら、クマがドアに突進してきて、「ドアが壊れなかったからあなたは生きてるんだよ」と言われました。それで結局全部閉まっていたので、この上から麻醉銃で撃って、100キロちょっとかな、こういうのが山形だけじゃなくて新潟でもあって、呼ばれたら行くようにしています。これも今はだんだん、マスコミさん

の騒ぎ方によって増えたとか凶暴だとかいう話になっているので、消されて呼ばれなくなったことも、そういう傾向もあります。

これは飯豊の倉庫に何かいるよということで行ったら、子グマでした。お母さんを捕ってるからなんです。だから乳飲み子を捕っちゃうとやっぱり、オスはクマも食べます。子どもを食べるので、ペアのお父さんは守りますけど、それ以外のオスは食べますので、そうするとお母さん、子どもはオスのいわゆるテリトリー、縄張りから、行動圏から離れようとして出てくるんです。今はもう増えてたくさんいるんだということで、こうなります。それは私の場合は、タグをつけて放したということになります。

これもイノシシの罠にかかって、放したんですけど、タグだけワイヤーから発信器が取れてしまいました。なぜかと言うと、まだ成長するので締められない、落ちてもいいやと思って付けています。

大きくても、これは1人でやるときついやというか、体重を測るところじゃなくて、首が持てないんですね。だから発信器をやっと付けたノリオくん、1週間後くらいに首輪を外してしまいましたけど、ノリオくんは今どこに行ったかわかりません。

最後の1枚です、これはカモシカがイノシシの罠に錯誤捕獲されて、そうすると捕獲されたカモシカやシカをクマが食べるんです。だからこうして柵が新しいんですね。かかって半日ぐらいで殺されて、持っていかうとするんです。足がかかっているんで持っていけなくて、私たちが行った頃にはもう死んでいて、これを置いておくとまたクマが来ちゃうので、他の所に持って行って焼却処分ということにしました。

このように、今いろんなことが起こるんだけど、だからクマがどうこう、カモシカがどうこうというよりも、助けを求めてると勝手に思っている。迷惑でしょうけど、私のそばに来たのはなるべく助けてあげて、メスだったらいつかは子どもを産んだり、オスだったら家庭を持てるような保護シカにして生きていてほしいなと。なぜかと言いますとね、40数年、50年近くやっていて、安定した密度になると、低密度で人を怖がって下には出てこないんですね。だからサルもそうですけども、撃って怖がって出てこなくなるということはないんですね。撃てば撃つほど撃ったところで増えます。だから私は猟師の味方をしてるわけじゃないですけど、撃てば増えるので、撃ったほうがいい肉で、撃てることで撃ったほうがいいバランスなんです。だから猟師さんも駆除じゃなくて食べるために獲ってくれるととてもいい、昔のバランスが取れていいと思います。

昨日たまたまですけども、夜、NHKで1987年の秋田のマタギをやってましたけれども、実は一緒にマタギと山にクマ撃ちに行ったことが懐かしいということと、あれは今ほとんど日本ではやってないので、ああいう文化というのは続けてほしかったなと思っています。

皆さんからいただいた助成金を使って、少しずつでも、また次の方がバトンタッチして、またわかれるような環境を作るのに皆さんに協力いただいた分を使わせていただいて、今後もずっとそういう形で活動していこうと思っています。

本日出席 (6 / 19)	会員総数	出席会員数
	102名	66名